

6月定例会概要

令和元年第2回定例会を6月13日から21日まで、9日間の会期で開催しました。

初日には椎木町長より、「米軍岩国基地への空母艦載機移駐後の航空機騒音の状況等」「大島大橋損傷事故に関する対応」

「幼児教育・保育の無償化」「平成30年度の各会計の決算見込み」について、4件の行政報告があり、その後に各議案の説明と質疑が行われました。

はじめに平成30年度一般会計のほか、簡易水道事業・下水道事業特別会計予算の繰越額にかかる報告と損害賠償（物損事故）の額を定めることについて専決処分の報告があり、次に、令和元年度一般会計補正予算（第1号）については既定の予算総額に4,035万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を144億2,735万6千円とすると

もに、介護保険事業及び渡船事業特別会計についても補正予算案が提出されました。

続いて、専決処分の承認を求めること（条例の一部改正2件）、森林環境整備基金条例及び若者定住促進住宅条例の制定、町衆文化伝承の館条例等の一部改正、橘斎場設備改修工事の請負契約の締結について、合計15議案が上程され審議されました。

初日は、専決処分された条例の一部改正及び工事請負契約の締結を討論・採決。委員会付託となった条例



小松開作地区若者定住促進住宅

最終日の21日には、各常任委員長から付託案件の審査報告があり、各会計の補正予算、条例の制定及び一部改正について討論・採決。続いて、追加上程された、油田漁港情本浦物揚場機能保全工事及び浮島地区海底送水管布設事業海底送水管布設工事の請負契約の締結を質疑・討論・採決。

の制定については、本会議終了後、所管の常任委員会（次ページ）において慎重審議を行ったところ。20日の一般質問には5名の議員が登壇し、「グローバル教育推進事業」「語学留学への支援」「中学校の統合」「防災安全対策」「入札執行」「小松開作地区若者定住促進住宅」「町内のゴミ対策」「避難所における障害者等への配慮」「就学援助制度」「個人情報保護」「米軍機による騒音」について、多くの議論が交わされました。

また、議員発議による「新たな過疎対策法の制定に関する意見書（国土の過半を占め、豊かな自然や歴史と文化を有する過疎地域に対し、引き続き、総合的かつ積極的な支援を充実強化し、住民の暮らしを支えていく政策を確立・推進すること。）」を全会一致で採択し、本定例会に上程されたすべての議案は原案のとおり可決のうえ閉会となりました。

● 橘斎場設備改修工事

契約金額…1億4,850万円
相手方…太陽築炉工業(株)

(福岡市)

● 油田漁港情本浦物揚場機能保全工事

契約金額…7,187万8,884円
相手方…ユタカ産業(株)

● 浮島地区海底送水管布設事業 海底送水管布設工事

契約金額…3億6,630万円
相手方…古河電気工業・ユタカ工業特定共同

企業体